

## 企画講座

### 幕末の国際派 竹川竹斎 講師 竹川 裕久 松阪市観光協会専務理事

幕末から明治にかけて活躍した松浦武四郎はいま話題の人となりましたが、もう一人、あの勝海舟の考え方に大きな影響を与え、経済的にも援助をした人物がいました。榊田川右岸に広がる射和に邸を構えていた竹川竹斎がその人です。松阪市射和町は古くから水銀で栄えた町で、後の松阪商人の元となる豪商が軒を連ねていました。竹川家もそのひとつで、伊勢商人として江戸に支店を出しており、幕府御用達の為替業を営んでいた勝とも知り合ったと伝わります。伊勢商人としての海外をも見据えた広い知識が勝の思想に大きな影響を与え、政治顧問といえるような立場だったようです。竹斎は地元でも茶の栽培を奨励し、製茶工場を建て、輸出までも視野に入れていた他、萬古焼の再興など地元や国が豊かになることを目指しました。また、射和文庫といわれる私設図書館を起し1万数千冊に及ぶ書籍や博学的な文物を集めました。

これらの業績をことさらに誇ることもなくおこなうのが豪商竹川家だったそうです。三重が全国に誇れる明治期の人物を再発見しましょう。

日時 9月10日(火) 13:30～15:00 参加費 会員 800円 ビジター 1,300円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

### 伊勢みやげの変遷 講師 山中 一孝 豆腐庵山中代表取締役

荷物にならない伊勢みやげは「伊勢音頭」、しかし村総出で送ってくれた伊勢参り、形のあるお土産無しではすまされぬ、第一に挙げられるのはいわゆる御札(神宮大麻)、そして漢方薬、軽くて実用的なので伊勢では萬金丹が有名になりました。ちょっと値のはるものでは根付、撥革紙など。食べ物がおみやげとなったのは明治になって鉄道が引かれてからの事。ずっと昔からあったおみやげと思っていたものが、意外と最近であったとか、今ではもうすっかり消えてしまったおみやげとかお伊勢参りに欠かせないおみやげの移り変わりをお話しいたします。

日時 9月18日(水) 18:30～20:00 参加費 会員 800円 ビジター 1,300円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名

### 秋の七草をあそぶ 講師 竹澤 幸甫 嵯峨御流正教授・事務局

萩、薄、葛、撫子、女郎花、藤袴、桔梗、こう並べてみるとなんとなく雅やかな感じがしますね。今回は平安の昔を偲んで七草を生けてみようと思います。しかし花の時期もありますので全部はご用意できませんが、薄を中心に秋らしい花をご用意しますので、自分流に楽しんでいただけます。指導して下さる竹澤先生の流派は嵯峨御流。嵯峨天皇が大覚離宮(今の覚王寺)において、大沢の池のほとりに咲く菊を壺に生けられたのがはじまりという由緒正しき流派。伝統的な生け方はとても無理ですが、今風に「想い花」という生け方がある、これはそれぞれの心に映じた想いを、花を通して表わすというもので、これならできるかもしれませんね。ぜひチャレンジしてみてください。(花包み・花切り鋏・タオルなどをお持ちください)

日時 9月24日(火) 13:30～15:30 参加費 会員 2,000円 ビジター 2,500円(花材費含む)  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

### 健康で長生きする秘訣～人生は遊びだ～ 講師 岩本 敏 オフィスらくだ代表、フリー編集者、エッセイスト、元雑誌「サライ」編集長

40年以上に亘り、出版界で主として雑誌の編集に携わった経験と踏まえ、仕事を通じておつき合いのあった人々や読者の方から学んだ、「健康寿命を延ばす秘訣」。そして、リタイア後に伊勢の地に移住し、雑誌「BE-PAL」や「サライ」で読者の方に勧めてきたライフスタイルを、今は自ら実践、検証してみてもわかった「第三の人生の楽しみ方」について提案します。インターネットや新しいテクノロジーは、私たちに何をもたらしてくれるでしょうか。それらを味方につけて、超高齢社会を楽しく生き抜くために役立つ情報と生活術を公開。また、『ビッグコミック』『少年サンデー』『BE-PAL』、『サライ』といった雑誌の編集を通じて知り合い出会った、手塚治虫さんからエリザベス女王までの、有名無名を問わない、人生の先輩たちの愉快で示唆に富んだエピソードも、可能な限りご紹介いたします。

日時 9月26日(木) 13:30～15:00 参加費 会員 950円 ビジター 1,450円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名

### 神宮摂社・末社・所管社の歴史 その1～饗土橋姫神社の歴史～ 講師 音羽 悟 神宮司庁広報室広報課課長

現在の宇治橋前には松の築山があります。ここだけ開いがしてあり、何か意味があるのかと感じる参拝者もお見えのようです。この場所は饗土という地名で、ここにはもともと橋姫神社が鎮座しました。鎌倉時代初期の書物に「饗土ノ二本松下ヲ経テ津長ニ参ル」とありますので、古く饗土は松の名所でもありました。饗土とは、疫神や悪霊が入り込まないようにする道饗の祭を行う場所をさしますが、室町時代中期の書物に「饗土之山神社」と記されています。神宮司庁登り坂の中腹に現在大山祇神社が鎮座し、古くはこの社も山神社と称しました。つまり中世では、宇治橋を挟み五十鈴川右岸と左岸相對峙して山神社が存在したことになります。何故でしょうか。神事河原として道饗祭が行われていた饗土の地において、道祖神が山神社として祀られていたと考えられますが、ではいつ橋姫神社に昇格したのでしょうか。宇治橋創建及び渡始式と絡めその謎に迫ります。また何故現在の場所に饗土橋姫神社が移設されることになったのか、その理由についても解説します。

日時 10月4日(金) 13:30～15:00 参加費 会員 850円 ビジター 1,350円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名

### 「戦国貴族の生き残り戦略」④ 講師 岡野 友彦 皇學館大学文学部長

國學院大學図書館所蔵「久我家文書」に含まれる戦国時代の古文書を読み解くことで、戦国時代を生き抜いた公家貴族たちの苦悩と「したたかさ」についてお話しています。第4回は永正17年(1520)の「左衛門五郎請文」を読みながら、公家貴族が暮らす京都近郊村落の村人たちと、貴族との関係を見ていきます。なお参考文献として、岡野友彦著「戦国貴族の生き残り戦略」がご購入いただけます。

中世の古文書を読めるようになりたいと思っている方、大歓迎!!

※岡野先生著「戦国貴族の生き残り戦略」は1,700円(税別)です。

日時 10月7日(月) 13:30～15:00 参加費 会員 850円 ビジター 1,350円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名

### オリジナルブレンド珈琲を作ろう2 講師 中村 雅則 日本スペシャルティコーヒー協会認定コーヒーマイスター

4月に開講したオリジナルブレンド珈琲を作る講座は、皆さんに楽しく和気あいあいとした時間を過ごしていただき、大変好評を得ましたので再度の登場です。今回もまずは珈琲の淹れ方のお手本を見せていただきながら、先生が厳選された珈琲豆を4～5種類味わいます。そしてその味をもとにグループで話し合いながら2～3回組み合わせを変えて味わい、お好きな味のブレンド珈琲を作り、出来上がったブレンド珈琲はお持ち帰りいただけます。前回とは異なる珈琲豆を使いますので、新しい味をみつけられます。個人では一度にたくさんの豆を味わうことは難しいですよね。ぜひこの機会に自分好みの珈琲豆を見つけ、これからの珈琲ライフを楽しんでみませんか?

日時 10月24日(木) 13:30～15:30 参加費 会員 2,000円 ビジター 2,500円(材料費含む)  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 20名

### 真珠で暮らしに彩りを 講師 小西 部 真珠の病院伊勢パールセンター代表取締役社長

3年ぶりに真珠でアクセサリーを作る講座が復活しました。ダイヤモンドもルビーもエメラルドも素敵ですが、真珠の清楚で柔らかな輝きはまた特別です。ところで世界最大の天然真珠は最近フィリピンで発見された34キロの変形真珠、これだけ大きいと形も丸ではなく横長でグロテスク、100億の価値があるとされていますが、「うーん」と思わないでもないですね。やはり真珠はコロコロと丁度よい大きさで奥ゆかしく首や胸に飾られているのがお似合いです。さて今回はどんな種類の真珠で作るのでしょうか、楽しみが増えますね。人気の講座ですので、お早めにお申し込みください。

日時 11月6日(水) 13:30～15:30 参加費 会員 2,000円 ビジター 2,500円(材料費含む)  
場所 五十鈴塾左王舎 定員 16名限定

### 秋の星見と小牧隕石 講師 毛利 勝廣 名古屋市科学館主任学芸員・学術博士

秋の星空には、秋の四辺形やカシオペア、そして、まだまだ見え続けている夏の大三角などの見所がたくさんあります。晴れたらレーザーで秋の星座をたどったり、望遠鏡で月や土星をご覧いただきたいと思います。2018年9月26日、愛知県小牧市に隕石が落下しました。現時点で、日本で一番新しい隕石です。落下の経緯や隕石から読み取れる太陽系の歴史などをお話します。

日時 11月6日(水) 18:30～20:30 参加費 会員 1,150円 ビジター 1,650円(和菓子付き)  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名 ※お菓子は講座に合わせて作っていただく五十鈴茶屋の特製菓子です

### 御代替わりを寿ぐー即位図屏風と悠紀主基屏風ー 講師 岡野 智子 細見美術館上席研究員

令和となり、新天皇が即位されました。即位に伴う儀式として、来る10月22日には「即位礼正殿の儀」、続いて11月14日から15日にかけては「大嘗祭」が行われます。江戸時代には、紫宸殿の前で行われた即位式の様子が屏風に描かれました。唐風の装束で華やかに繰り広げられた式典は、現在の「即位礼」とは異なる点も多いようです。「大嘗祭」は新天皇が初めて行う新嘗祭のこと。神に供える新米を献上する悠紀地方・主基地方から、大嘗祭後の饗宴の場に飾る屏風が献上されました。今は著名な日本画家が両地方の風景を描きますが、江戸時代までは御用絵師が四季の景物を描いていました。天皇の即位に伴う調度、「屏風」が果たした役割を最新の知見からお話します。

日時 11月7日(木) 13:30～15:00 参加費 会員 950円 ビジター 1,450円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名

### 「霜夜香」を楽しむ 講師 東 堯霞 香道御家流三條西宗家直門師範

「淡路島かよふ千鳥のなく声にいく夜ねさめんすまの関守」 源兼昌 金葉集  
(淡路島から渡ってくる千鳥の鳴き声に、幾夜目を覚まして眠れぬ夜を過ごしたことだろうか、あの須磨の関守は) この歌は「霜夜香」の証歌(テーマのようなもの)です。須磨の関守とは、現在の兵庫県神戸市須磨区にあった関所の番人のこと。波音に混ざって聴こえてくる千鳥の鳴き声は、なんとも寒々しくもの哀しいものだったのでしよう。その寂しい鳴き声に、関守がついに眠りを妨げられ目覚めてしまい、真夜中に自分の孤独な境遇をひっそりと実感する。霜月の夜、「淡路島」「波」「千鳥」「いく夜」の香りで、この寂寞とした歌の情景を体感しましょう。

日時 11月8日(金) 18:30～20:30 参加費 会員 5,300円 ビジター 5,800円(香庭料・食事代・お菓子含む)  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 25名

### はじめての花結び～様々な花結び4種～ 講師 川本 美香子 日本結び文化学会会員

「花結び」は一本の紐を手で結び、花や蝶、紋などの形をつくる飾り結びです。「結ぶ」という行為には、長い歴史と伝統に培われた美しさが存在しています。古代人は、その結び目に神の御心が宿ると信じていました。仏教の伝来と共に花結びが伝えられると、花結びの文化は一気に花開きました。現在でも、信仰に関するもの、日本の伝統的なものなどには残っていますが、私たちの暮らしからはほとんど消えてしまいました。そんな優美な結びを現代風にアレンジして楽しんでみませんか。今回はペンダントトップに通す紐を花結びします。4種類の花結び(あまじ結び・巻き結び・左右結び・つゆ結び)を自由に組み合わせ、オリジナルのペンダントを作ります。紐とトップは取り外し自由なので別々に使うこともできます。この機会に世界に一つ、オリジナルの花結びペンダントをぜひ作ってみませんか?(メジャー・ハサミピンセット・待ち針を必ずお持ちください) ※材料準備の都合により、11/6に申し込みを締め切りますので、お早めにお申し込みください。

日時 11月13日(水) 13:30～15:30 参加費 会員 2,500円 ビジター 3,000円(材料費含む)  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 15名限定

### 「明治宮中出仕の記」に見る明治天皇と照憲皇太后のお暮し 五十鈴塾事務局

御即位された天皇皇后両陛下のご立派なお姿が、新聞やテレビで報道されるたびに、とにかくめでたい、うれしいと思う人がとても多いようです。日本人は本質的に皇室好き、今は随分と開放的ですが、昔は雲の上の事なのでまったく知る術はなかったのです。明治42年、18歳で宮中に仕えた山川三千子さんは明治天皇の皇后美子(はるこ)様に仕え、両陛下の日常の御様子や、天皇が女官たちにつけたニックネームが良く特徴をとらえていたことなど、下々には計り知れないことなども書かれていて出版された当時はちょっとした驚きだったそうです。年中行事、四季の服装、食事やおやつのことなど、宮中での風習は雅やかで長い歴史が伺えます。明治天皇も美子皇后も時期は違いますがそれぞれに伊勢神宮に行幸行啓されていらっしゃるようですので、伊勢人としては一体どんなお暮しだったのか興味がわきますね。(協力/講談社学術文庫)

日時 11月19日(火) 13:30～15:00 参加費 会員 800円 ビジター 1,300円  
場所 五十鈴塾右王舎 定員 30名

### 楽しい俳句 講師 石井 いさお 俳人協会三重県支部長・煌星俳句会主宰

わずか17文字にいろいろなことを詠みこむ俳句。筆記用具さえあればいつでもどこでも楽しめる手軽な趣味。難しいことをいえば貴族社会で楽しまれていた和歌に始まり連歌、俳諧となり、芭蕉が芸術にまで高めた究極の短詩です。これを生み出したのが日本人であることは世界に誇るべきことです。日本語のリズムは知らず知らず5・7・5になっているといわれます。つまり誰もが俳句を作る下地は持っているのです。いまや世界の人々が作る俳句、一度ぜひ作ってみてください。石井先生がわかりやすくノウハウを教えてください。

期日 9月25日(水)・10月23日(水)・11月27日(水) 時間 各回10:00～12:30 定員 30名  
参加費 各回 会員 1,550円 ビジター 2,050円(9月のみ 会員 1,500円 ビジター 2,000円)